

GAP研修 (1/12)



11月15日に、両学年を集めてGAP研修が実施し、GAPの取得に関する講義とICT技術を活用したGAP実践についての演習を行いました。その研修を受けて、今回は、コース別にもGAPの演習を実施しました。

教室で、「GAP作業舎の安全及び圃場等リスク検討と記録習慣のための演習」として、点検項目を確認したり、講師より点検票を紹介していただいたりしました。その後、作業舎や圃場を巡り、農場管理・食品安全・環境保全・労働安全・人権保護などの観点から、適切な運営が行われているか、問題点はないか観察しました。そして、再び教室へ戻り、作業舎や圃場で気づいた点について話し合いました。

教室で説明を受けました。問題点がないか作業舎を観察

農業体験学習 (1/18~24)



ケールの移植

ツルバラの剪定作業

甘藷の出荷調整

先進的な農業経営及び地域農業の実際を体験することにより、高度な知識・技術及び企業的な経営管理能力を備えた後継者を育成することを目的に、農業体験学習を取り入れています。1月、3月、5月、8月の4期に合計20日以上での体験学習を行います。

卒業論文作成中 (1/19)



プロジェクト中間発表での助言を受け、マンツーマン指導で、データの再確認、論理構成の再点検等により卒論を完成させます。

中四国プロジェクト発表 「徳島農大生 全国へ選出される！」 (1/25, 26)



「パッションフルーツの導入による経営改善」と題して柳田君発表、「初夏取りブロッコリーの栽培技術検討」と題して峯川君発表、中四国の代表に本校の柳田君が選出され全国大会で発表します。中四国の各農大からの代表が集まり発表しました。

プロジェクト成果発表 (2/1-2)



司会等の運営は学生が担当 出番待ちには緊張の面持ち 懸命な栽培、確かなデータ 質問にも的確な対応 学生がこれまでに取り組んだ「プロジェクト課題学習」の研究成果をまとめ、その要旨を発表しました。農大2年間の集大成です。1年次生、2年次生、研究科生、教職員に加え、保護者の方や高校の先生方も聞きに来られました。